

粕谷和夫の観察日記より。題字の写真は、真夏の日比谷公園のアオスジアゲハです。日比谷公園には、楠の大き木が沢山あり、アオスジアゲハがこの木に産卵に来ていました。楠の木の下のアオスジアゲハの花に吸蜜中です。連日の 35℃を越す炎天下、蝶が必死に生きている姿に元気をもらいました。

紅葉台



新聞

第90号

2023年
8月12日

発行人：関谷 孝

八王子の戦争を語り継ぐ

中央本線 いのはなトンネル 列車空襲



慰霊の碑 今から78年前、1945年8月5日昭和20年8月5日新宿発長野行419列車が浅川駅(現在の高尾駅)を出発し、湯の花(猪の鼻)トンネルに差し掛かった時、硫黄島から飛来したP-51 Mustangの銃撃を受け、52人が死亡、133名が重軽傷を負った。

列車への銃撃空襲としては日本最大級の被害であった。

私どもは、この戦争の惨禍を決して忘れることができません。

ここに、確認された犠牲者のお名前を書きとどめ、ご遺族とともに心からご冥福をお祈り申し上げ、現在の平和の日々をかみしめ、戦争を知らない世代へこのことを語り伝えます。平成四年八月五日

いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会

碑裏面 戦災死者供養塔は、昭和二十五年八月、当時の上長房(現：裏高尾町、西朝川町)青年団が、亡くなった方々を供養するため、団員協力のもとに建立したものです。



供養塔には、亡くなった方々を茶毘に付した日影沢の石が用いられました。地元に住む人々は、尊い犠牲者のお名前も人数も知ることなく、供養塔の前に手を合わせ、ご冥福をお祈りしていました。昭和五十六年から八王子市教育委員会が八王子の空襲の調査を行い、その後あらゆる手だてを尽くした結果、この事件の犠牲者は六十名以上と推定いたしました。そのうち、四十名のお名前と遺族が判った昭和五十九年、遺族関係者、地元の有志により七月二十一日に「いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会」が発足いたしました。

会では、この年の八月五日を「供養の日」に定め、毎年供養の集いを行い現在に至っています。

供養塔は、はじめ唐沢踏切の北側にありましたが、地主のご好意で南側の土地を無償で提供していただき、昭和六十一年七月二十八日現在地に安置されました。

かねてから、会では蓄積した浄財で亡くなった方々のお名前を刻んだ慰霊の碑の建立を計画していたところ、平成四年三月、東京八王子南ロータリークラブからも協力の申し出があり、ここに念願でありました慰霊の碑が完成いたしました。

平成四年六月十日

いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会

裏高尾町荒井にある いのはなトンネル列車空襲は今年で40回目の「慰霊の日」が8月5に行われました。現地では慰霊の集いを開催し、犠牲になった方々のご冥福



を心を込めて祈りました。献花の花は、いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会が用意しました。尚、高尾駒木野庭園にて『高尾山麓の昭和史展』も開催されています。(8月1日~16日まで開催しています)

この日は、照り付ける太陽の中たくさんの方が慰霊に訪れていました。受付で記帳し、慰霊碑の前で白い菊の花を献花し祈りを捧げました。その後、下りの線路脇で、Nさんから当時の様子や米軍機がなぜここに来て銃撃したのか等話を聞くことが出来ました。



当時の列車は木造で山梨に向かう汽車には民間人が乗車していました。5歳の子供は伯母が覆いかぶさるようにして亡くなっていたそうです。線路下の安藤宅の庭に筵が敷かれご遺体が安置されました。ご子孫の方からも話を聞くことが出来ました。この新聞に登場した小林松次さんや関根幸子さんも当時のことをよく知っています。八王子の戦争の傷跡はほかにもたくさんあります。八王子



子は空襲があり、町が焼け野原になりました。八王子駅ホームの弾痕の跡、大和田橋の空襲跡、浅川地下壕跡、ランドセル地蔵(相即寺)等。今後この新聞を通して毎年伝えていこうと思

います。戦争の悲惨さと平和の大切さを風化させず語り継いでいくことが残された私達の使命だと思います。

粕谷和夫の観察日記

ツチアケビ

ツチアケビという珍しいランの実です。高尾山の登



り途中では、90歳という元気な男性に出会い、元気をもらい、下り途中では、ツチアケビに出合って疲れを癒しました。

ウマノスズクサ



奥高尾の景信山に登りました。登山途中にウマノスズクサの花に出会いました。ウマノスズクサはジャコウアゲハの食草です。この花は、花弁が無く、愕が発達して、愕筒が湾曲します。愕筒の基部は球形に膨らみ、愕の内側は紫褐色で短毛が密に生えて、愕の端は三角状に伸びて縁がやや反り返ります。



日比谷公園を歩いていると、雀が水道の蛇口で水を飲もうとしていました。7月29日も35℃を越す猛暑の東京、水が出ない蛇口で水を飲もうとしている雀に同情です。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。